2019年度

NITE講座（シラバス）

科目名	事業者等における製品安全対策の基礎知識	教室定員	東京40名 大阪50名	拠点 （開講機関）	東京及び大阪 （製品評価技術基盤機構）
科目概要	本講座は、基礎編と実務者編で構成する。基礎編では、製品安全の基礎知識として、これまで発生してきた重篤な製品事故とそれを契機とした製品安全対策や最近の製品安全行政の動向を紹介するとともに、より安全な製品を供給するためのリスクアセスメントの基礎及びniteが取り組んできた技術基準や規格の策定状況などについて解説します。実務者編では、まず、製品事故調査を実施する上での技術的な着眼点と実践を紹介します。更にリスクアセスメントの実習、消費生活用製品に含まれる化学物質のリスク評価の考え方、事故情報を活用した未然防止に繋がる事例を紹介します。また、海外の製品安全動向についても紹介します。 受講者には本講座を受講することにより、企業等における設計や製造・品質管理における製品安全対策等に役立てることが期待できる。				

科目構成	No.	講義名	講義概要	講義日	時間	開講場所
基礎編		概要説明	基礎編二日間の概要を説明いたします。	10月1日（火） 1日目	13:00～13:10	メイン会場 製品評価技術基盤機構 東京本所 （東京都渋谷区西原2-49-10） サテライト会場 製品評価技術基盤機構 大阪事業所 東北支所（仙台） 中部支所（名古屋） 北陸支所（金沢） 九州支所（福岡）
	1	過去の重大な製品事故と製品安全の考え方	石油温風暖房機による一酸化炭素中毒死亡事故等、過去の重大な製品事故やその行政指導等について紹介し、共通認識として製品安全を実現するために事業者、消費者、行政の役割は何か、また、安全・リスクなどについて解説します。		13:10～14:40 （90分）	
	2	製品安全施策と消費者行政の概要	経済産業省における製品安全に関する規制の体系、製品安全政策の実施状況やリコール製品の効果的な回収に向けた検討、ネットモール事業者との連携、海外連携など、最近の動向について解説します。		14:50～16:20 （90分）	
	3	製品事故の動向	平成30年度にNITEに収集された消費生活用製品の製品事故動向を中心に、製品別、生産国別などのデータを用いて多角的な面から紹介します。		16:30～17:00 （30分）	
	4	リスクアセスメントの基礎	消費生活用製品を製造又は輸入する事業者には、単に法規制を遵守するだけではなく、使用者の視点に立ったリスクアセスメントを行い、より安全性を高めた製品を市場に供給することが求められています。本講座では、製品安全分野におけるリスクアセスメントの基礎を学びます。	10月2日（水） 2日目	10:00～11:00 （60分）	
	5	安全対策のための標準と規格開発	繰り返される製品事故を未然に防止するために、製品横断的、個別製品的に規格や技術基準・業界基準の作成及び支援を行っています。これまでの取り組みや現在、取り組んでいる内容を紹介します。		11:10～12:10 （60分）	
	6	最近の事故事例、原因究明（電気分野以外）	電気分野以外の製品事故と原因究明の具体的事例を通じて、近年の事故を考察します。		13:10～14:10 （60分）	
	7	最近の事故事例、原因究明（電気分野）	電気分野の製品事故と原因究明の具体的事例を通じて、近年の事故を考察します。		14:20～15:20 （60分）	
実務者編		概要説明	実務者編二日間の概要を説明いたします。	10月8日（火） 1日目	13:00～13:10	メイン会場 製品評価技術基盤機構 大阪事業所 （大阪市住之江区南港北1-22-16） サテライト会場 製品評価技術基盤機構 東京本所 東北支所（仙台） 中部支所（名古屋） 北陸支所（金沢） 九州支所（福岡）
	8	事故事例における調査手法（電気分野以外）	電気分野以外の製品事故調査のポイントを技術的に解説した後に、擬似的に実践していただきます。		13:10～14:10 （60分）	
	9	事故事例における調査手法（電気分野）	電気分野の製品事故調査のポイントを技術的に解説した後に、擬似的に実践していただきます。		14:20～15:20 （60分）	
	10	事故事例とリスクアセスメントの実習	事故の多い製品についてリスクアセスメントの事例や、リスク低減にみるその効果を紹介し、リスク評価手法を体験していただきます。		15:30～17:00 （90分）	
	11	消費生活用製品に含まれる化学物質のリスク評価	消費生活用製品には様々な化学物質が使用されています。化学物質に関するリスク評価の考え方及びその事例について解説します。	10月9日（水） 2日目	10:00～11:30 （90分）	
	12	消費生活用製品の事故情報の活用	消費生活用製品の事故情報を、FMEAやFTAといった信頼性解析手法を用いて体系的に整理し、事故の未然防止に繋げるための一例を事故を予測するためのシステム等含め紹介します。		13:00～14:00 （60分）	
	13	海外の製品安全動向	欧米等における消費者製品安全への取組やどんな製品やリスクが問題になっているかについて紹介します。		14:10～15:10 （60分）	